

大橋松平 （おほはし じゆうへい） 歌人。明治二十六年九月五日大分縣生れ、昭和二十七年四月二十八日歿（二八三—一九五三）。舊姓石崎。大正五年前田々暮生業の白井社に入り、のち若山秋水主宰の創作社に轉じた。昭和八年と京し改造社入社、雑誌『短歌研究』編輯長を務める。戦後は歌誌『都麻手』主宰、『創作』編輯など。

著書、『歌集』同『川』（昭和十一年十一月七日創作社『創作社叢書』）、『若山秋水』（昭和十四年十一月二十日砂子屋書房『現代白叢書』）、『歌集』同『幼學』（昭和十五年十一月十七日豊永書房）、同『淡墨』（昭和二十六年八月一日長谷川書房『新選短歌叢書』）、同『夕雲』（昭和二十二年四月二十八日創作社『創作社叢書』）等。

